

【全国年賀はがきコンクール 大賞】

苦勞突破し硬筆にも自信

東京都・中野区立第七中学校
3年 大平 知雅

年賀はがきコンクールで特別賞をいただくのは私の中学校生活の中で二回目で、とても嬉しく思っています。苦手意識を持っている硬筆にもかなり自信がつかしました。

今回の大会で大賞をいただくまでには、たくさんの苦勞がありました。それは、初めて書いたとき上手に書けなかったことや苦手な文字が入っていること、そして受験勉強のストレスの中で、年賀はがきに取り組むには根気が必要だったことなどです。

私の苦手な文字は「明」です。何度も書きこんできた文字ですが、いっこうに納得できるものを書くことができませんでした。そのような状況で何回も練習し、用紙に一文字しか書くことができず、何枚も無駄にしてきました。やっとうまく書けるようになり、一つの作品として仕上げられました。

多くの苦勞を突破した経験を生かし、これからも実力を伸ばしていきたいです。